

ペットトリマーを目指して頑張っています

受講者の本音をインタビュー「求職者支援訓練を受講した感想は？」Vol.5

(株) みなみ 岡崎南アニマルアカデミー 0からスタート ドッグトリマー養成科



ハポートレーニング（公的職業訓練）としては全国的にも珍しいドッグトリマーを目指す訓練コースの受講者に話を伺いました。

受講者（Rさん：女性）上段

受講者（Yさん：男性）下段

- ・前職は百貨店で接客の仕事をしていましたが、失業してハローワーク（HW）に行った際にこの訓練のチラシを見た。学校までは、名古屋から電車で片道1.5時間かかるし、定期代も月3万円以上かかるけど、トリマーの訓練を無料（※テキスト代は実費）で受けることができるので受講を決めた。
- ・犬もネコも飼っていて動物が大好きなので、授業で毎日犬に触れることができている。
- ・トリマーとして一人前になるには訓練修了後も練習が必要なので、ペット業界に就職して働きながらトリマーの勉強を続けようと思っている。技術を身に付けるのは大変だけど、技術は教わるものではなく一生懸命練習して身に付けるものなので、大変なのは当たり前だと思っている。
- ・受講を迷っている人がいたら「迷ってるくらいなら受けてみれば」と伝えたい。この訓練は、必ず自分の役に立つと思う。

- ・トリマーになりたかったので、HWで仕事を探していたところ、この訓練のことを知った。トリマーの専門学校に通うのは資金的に難しかったので、受講料無料で受けられるのはありがたかった。
- ・学校へは尾張北部から片道2時間かけて電車通学している。職業訓練受講給付金（※支給要件はリーフレット最終ページの内側を参照）が受けられることになり、定期代が支給されたので助かっている。
- ・授業では犬を扱うので体力がいるし、ハサミも扱うので犬をケガさせないようにと神経も使う。でも、好きなことを勉強するので授業は楽しい。実技はもちろん座学も勉強になる。
- ・技術を身に付けるためには、受け身ではなく学びに行く姿勢が大切だと思っている。
- ・トリマーの勉強を続けたいので、パートではあるがペットサロンに就職する予定。そこで1年間技術を磨いて一人前のトリマーになりたいと思う。
- ・トリマーになりたいなら迷っていないで行動した方がいいと思う。学校に連絡して見学させてもらえば、教室や授業の雰囲気も分かるし、訓練内容も説明してくれる。自分も見学して受講を決めた。



犬を扱うテクニックは、実際に犬と触れ合っけて身に付けるしかありません。犬の扱いを実践で勉強できるのがこの訓練の強みです。



言葉が話せない犬だからこそ、人間が体調の変化に気付いてあげる必要があります。そこで、座学では動物看護の基本についても学びます。

実施機関の責任者（岡崎南動物病院院長・動物病院グループ代表）にも話を伺いました。

- ・トリマーとして一人前になるには最低2年は必要です。専門学校では2年間で学びますが、求職者支援訓練は最長6か月なので、早い段階から犬を使った実践的な授業を行うなど1年分の内容を半年に凝縮して教えています。
- ・でも、残りの1年分は、働きながら技術を磨くといった、本人の努力が必要になりますので「動物が好き、動物の世話が好き、トリマーになりたい」という気持ちを持った方に訓練を受けていただきたいですね。当院もペット業界にたくさんのつながりがありますので、HWと連携して訓練を修了された方のペット業界への就職を支援させていただいています。
- ・トリマーには美容師のような国家資格がないので、資格よりも技術が重要視される業界です。だからこそ独学での勉強は難しく、専門学校やスクールに通う必要があるのです。しかし、専門学校は年間100万円以上の学費がかかるので誰もが通えるわけではありません。その点、この訓練は無料で受講できるので、求職者支援訓練は、受講者にとっては素晴らしい制度だと思いますね。
- ・ただ、学校側とすれば、授業で使う犬を何匹も確保する必要がありますし、人気のトリマーを講師として何人も確保していますので、採算は取れていないのが正直なところです。それでも当院が訓練を続けているのは、当院は岡崎市周辺に4店舗の動物病院と併設のペットサロンを展開させてもらっていますので、ペット・トリマー業界への恩返しや地域貢献になればとの考えからです。
- ・トリマーは技術さえあれば働き続けることができる仕事です。ペットサロンに就職することも、独立して開業することもできます。男性でも女性でも、結婚して子育てがひと段落しても働ける仕事です。トリマー同士で結婚して独立・開業する人も多いですよ。夫婦二人で働けば、事業も安定しやすいですからね。ぜひ、もっと多くの人にこの訓練のことを知ってもらい、受講してもらいたいですね。



授業では、ペットサロンを訪問し、トリマーがどのように働いているかを見学して話を伺います。



(2020.10)